

令和 元 年 1 0 月

(第 1 回)

京 都 府 教 育 委 員 会 会 議 録

1	開	会	令和元年10月10日	午後 2 時00分
	閉	会	令和元年10月10日	午後 2 時45分

2 出席委員等

橋本	教育長	上原	委員	安藤	委員
小畑	委員	安岡	委員		

3 欠席委員

千 委員

4 出席事務局職員

前川	教育次長	山本	教育監
西村	管理部長	山口	指導部長
大路	総務企画課長	平野	管理課長
村山	教職員人事課長	安田	特別支援教育課長
村上	保健体育課長	下村	総務企画課副課長
片又	総務企画課副課長	岡	総務企画課副主査

5 議事の概要

(1) 開会

教育長が開会を宣告

(2) 前会議録の承認

ア 9月分1回の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

(3) 報告事項

ア 京都府立向日が丘支援学校改築基本構想（中間案）について

【安田特別支援教育課長の報告】

○ 向日が丘支援学校改築基本構想中間案について報告する。

向日が丘支援学校は昭和42年に京都府立で最初の肢体不自由の養護学校として開校してから50年が経過し、校舎の老朽化が進み、改築が必要な状況にある。校舎の改築を計画するに当たり、改築整備の基本理念と方向性を示すため、基本構想を策定することとした。

基本構想を策定するに当たっては、昨年度、乙訓地域の教育福祉分野の関係者と向日が丘支援学校の保護者代表で構成する、向日が丘支援学校改築基本構想検討会議でいただいた、向日が丘支援学校に期待される教育活動を始め、乙訓地域の小中学校や福祉分野との効果的な連携のあり方等についての意見や、長岡京市で計画されている長岡京市共生型福祉施設構想との連携についても考慮し策定することとしている。

最初に、基本構想の理念であるが、共生社会の実現に向け、児童生徒の社会的自立と人間性豊かな人生の歩みを支援する新たな学校を目指すこととしている。

次に、特色とする教育活動と整備方針については4点を考えている。

1点目は、全ての児童生徒が自立して生活する力を整え、社会参加する力が身につけられるよう、集団で宿泊し、生活体験のできる実習室や、卒業後の生活や就労を見据えた、生活する力を学ぶ生活指導や宿泊体験を行う1人暮らし体験型の実習室を新たに整備したいと考えている。

2点目は、現在の情報化社会に対応する情報活用能力の育成や、障害による様々な学習上の困難さを改善するための学習支援機器を活用できるようICT環境を整備したいと考えている。

3点目は、小中学生や地域住民等とのスポーツを通じた交流の促進や、地域の障害者スポーツの活動の場として、様々な障害者スポーツに対応できる規模の体育館を整備したいと考えている。

4点目は、向日が丘支援学校の改築に合わせて長岡京市で計画されている共生型福祉施設構想で、児童発達支援センター、放課後デイサービス、グループ

ホーム、就労支援事業、老人福祉センター等の整備を想定されている。長岡京市福祉施設構想との連携については、教育と福祉施設を同一敷地内に整備するという立地条件を生かし、相談機能や実習等の連携を図るものである。

今後は、施設の規模等を追加した上で最終案とし、令和2年1月の構想策定を目指している。

【質疑応答】

○ 上原委員

令和2年に基本構想を策定するということは、最終的なゴールはいつになるのか。

○ 平野管理課長

来年再来年の基本・実施設計からスタートして、全面改築が完了するのは、令和8年度末になり、移転は夏休みにすると令和9年ぐらいになる予定である

○ 上原委員

全部取り壊して建て直すのであれば、工事中は、仮の施設が必要になるのではないか。

○ 平野管理課長

府立学校で初めて全面改築をする特別支援学校なので、音に敏感に反応する子どももいるし、工事車両の侵入路が1カ所しかないということもあり、工事中の安全の確保の点からも、仮の移転場所が必要になると考えている。

○ 上原委員

仮施設の候補地はあるのか。

○ 平野管理課長

探している最中である。

○ 小畑委員

165人の児童生徒がいるとのことだが、新しい学校は何人ぐらい規模感を想定しているのか。

○ 安田特別支援教育課長

まだ具体的には設計していないが、この乙訓地域についても、人口増がまだまだ見込める地域であると思っているので、最低でも200人規模の施設整備はしたいと考えている。

○ 小畑委員

この基本構想は、ある種の定性的な概念みたいなものを決めて、規模などは、この後また人口動態調査などの結果を見ながら決めていくと考えていいのか。

○ 平野管理課長

これを基礎にし、その後、基本設計、実施設計と精度を上げていき、進めていく。

○ 小畑委員

基本理念は、どこの支援学校とも基本的には同じなのか、あるいは新しい学校なので、今までとは一味違う理念を標榜しているのか。

○ 安田特別支援教育課長

基本的なところは他の支援学校と一緒にであるが、大きく違うのは、同じ敷地内に、共生型福祉施設が建設予定であるということで、そういった福祉の関係と連携を深めて、例えば、長岡京市で整備される福祉施設を活用した実習等が

移動の少ない場所でできるところが、他の支援学校と異なる。

- 小畑委員
基本理念①の中に込められていると思ったらいいか。
- 安田特別支援教育課長
そのとおりである。

イ 運動部活動指導ハンドブック＜改訂版＞について

【村上保健体育課長の報告】

- 運動部活動指導ハンドブック＜改訂版＞について、改訂ポイントについて簡潔に説明する。

1つ目は、京都府部活動指導指針の内容を明記した点。2つ目は、未だに根絶に至っていない体罰やセクハラ、パワハラに代表されるハラスメント行為の防止に向け、より内容を充実させた点。3つ目は、効率的・効果的な練習を展開するための指導ポイントを追記した点。4つ目は、健康面の新たな内容を追加・充実させた点。5つ目は、スポーツを行う上で最も大切な安全管理と事故防止について、昨今の熱中症対策等の内容を追加・充実させた点となる。

本日以降に府立学校及び京都市を除く公立中学校各校に配付するとともに、京都府教育委員会HPからダウンロードする形で、教職員や外部指導者を対象とした研修会をはじめ、多くのスポーツ指導者に活用してもらえるよう周知していきたい。

【質疑応答】

- 上原委員
このハンドブックは、各学校何部ぐらい配付するのか。
- 村上保健体育課長
各校4部の配付と考えている。
- 上原委員
予算の関係もあると思うが、もっと行き渡る方法があればいいと思う。
- 小畑委員
ボランティアが指導する地元のスポーツクラブのような野球教室も多くある。わかっている範囲だけでもハンドブックを配ってみるとか、部数が多くなるのであれば、ホームページを見てくださいという呼びかけをするなどして、正しい指導方針が浸透していくような手立てを考えたかどうか。
- 村上保健体育課長
各競技団体を統括している京都府スポーツ協会等とも情報共有し、各競技団体から指導者に周知していただいたり、研修等で活用してもらえるよう連携していきたい。

ウ 令和2年度京都府公立学校教員採用選考試験の結果について

【村山教職員人事課長の報告】

- 今年度を実施した来年4月採用予定の令和2年度教員採用選考試験の結果に

ついて報告する。

まず人数であるが、募集要項上の採用予定者数を350名程度としていたところ、優秀な人材を積極的に確保する観点から、辞退者も見込んで、今回95名プラスの445名を名簿登載した。昨年度との比較では、54名の増加となっている。名簿登載という言葉であるが、教員の採用は、採用候補者名簿に登載して、そこから欠員の状況に応じて採用していくというシステムを取っているためにこういう呼び方をしている。

募集人数を大幅に上回る合格者を出すことについては、全国的に教員志願者が減少し倍率も下がる中、京都府においては今年度も低下傾向にあるものの優秀な多くの人材に志願いただき、一定の倍率の元、積極的な正規教員の確保に努めた。また、教員の数は、子どもの数に基づく学級数が基礎になって決まるシステムになっており、将来少子化傾向にあることや、定年延長や再任用者の動向により退職者が少なくなる年度も予想されることから、定員いっぱいの数を正規の教員で採用することができない仕組みになっているため、臨時的に定数内講師を任用している。こういった講師の不足が最近全国的な「教育の穴」問題として取り上げられているところであり、そのことへの対応のためにも、正規採用の教員を積極的に確保することとした。

特徴的な内容は、多様な資格経歴を持つ人材の確保として、小学校志願者の中で、他校種の免許を持つ人材を52名採用している。内訳として、中高の英語免許を持つ者を19名、特別支援学校の教員免許状所有者を31名、情報科の免許を有する者を2名合格させている。また、英語資格所有者や国際貢献活動等の経験等がある者に対して、1次試験の点数に加点する措置を新たに設けたところであるが、小学校と中学校英語科で英検準1級を所有し加点措置を受けた者を小学校1名、中学校5名の6名を合格させた。

スペシャリスト特別選考は、社会での豊富な経験を持つ者や特定分野に秀でた能力を有する者を対象とした特別選考を実施しているものである。高校理科で、化学分野での研究実績のある人材で、化学メーカーにて最先端ナノ粒子やセラミック複合材料の研究をし、企業と連携して国際特許出願をしている方や、体育の分野で、水球でリオデジャネイロ五輪代表出場者、レスリングのアジア大会3位入賞者を合格させた。

また、今年度から年齢制限を撤廃し、60歳未満まで受験可としたところだが、府内で講師をしている5名と他府県の現職教員1名の計6名の経験豊富な50歳代の方々に来ていただくこととなっている。

今後の予定として、採用前に2回事前研修会を実施することとしており、最新の教育改革や教育課題への認識を深めることや、最近不祥事が続いていることから、心構えやコンプライアンスの徹底をはかるための取り組みもしていきたい。

校種や教科毎の内訳であるが、小学校で2.9倍、中学校で4.3倍、高校で7.7倍、特別支援学校で3.5倍、全体で4.3倍となっている。昨年度の5.4倍から減少しているが、一定の倍率を確保した上で、レベルは落とさずに、優秀な人材を積極採用した。

教員の採用数については、少子化、定年延長等のいろんな要素があり、なかなか正確な見込みが立てにくく、なるべく中長期的な見通しを持って適正な規模の採用を行い、計画的に優秀な人材の確保に向けて取り組んで行きたいと考

えている。

【質疑応答】

○ 安岡委員

名簿搭載者の中で、辞退される方は、他府県の教員採用試験を重複して受けているということか。

○ 村山教職員人事課長

他府県の教員の他、民間企業など様々であるが、一番多いのは、他府県の試験に受かったので辞退される方だと思う。

○ 安岡委員

だいたいどれぐらいの割合なのか。

○ 村山教職員人事課長

例年だと、15人から20人ぐらいが辞退されている。

○ 安岡委員

5 %ぐらいか。

○ 村山教職員人事課長

そのとおりである。

○ 小畑委員

スペシャリスト特別選考は面白い。これは、教員免許を持ってないが一芸に秀でた人を採用して、教育効果を高めようということなのか。

○ 村山教職員人事課長

スペシャリスト特別選考は、教員免許の有無は問わない。採用に当たっては、一定の審査を経て、その分野での経歴などを見ながら、特別免許状を付与できることになる。

○ 小畑委員

こういう人達はどのように配属するのか。例えば、水球の人が水泳を教えるのがとても上手くて、ある学校の先生にして、水泳が好きな学生をいっぱい集まるようにするのか。それとも、各学校を巡回しながら、順番に水泳を教えていくのか。

○ 村山教職員人事課長

例えば体育の分野では、今回なら水球やレスリングなど、そういう部活動なり、特色を出している学校は限られてくるので、その専門性が生かせる学校に配置をして、頑張ってもらいたいことになる。

また、理科の方だと、その分野で特色を出して取り組んでいる学校に配置をして、よりいっそう伸ばしていったり、底上げを図っていったりという活用をしているところである。

○ 小畑委員

だいたいの配属先の学校の目星をつけて、それに合う人を採用しているということか。

○ 村山教職員人事課長

そのとおりである。

(4) 議決事項

ア 第42号議案 中学校教職員の懲戒処分について【非公開】

〔原案どおり可決〕

イ 第43号議案 令和元年度京都府教育功労者表彰の受賞者の決定について【非公開】

ウ 第44号議案 令和元年度京都府教育委員会附属機関の委員等表彰の受賞者の決定について【非公開】

〔原案どおり可決〕（議決事項イ及びウ）

（５）閉会

教育長が閉会を宣告